美作・作東美術館 きょうから企画展

古墳時代の出土品紹介

美作市教委は6日から、古墳時代の出土品を紹介する企画展「美作市の軌跡～争乱からヤマト王権へ～」を江見の作東美術館で開く。装飾された刀や、エリアを代表する出土品の陶棺などが並べられ、悠久の古代ロマンを届ける。25日まで。（平田知也）

装飾刀や陶棺56点

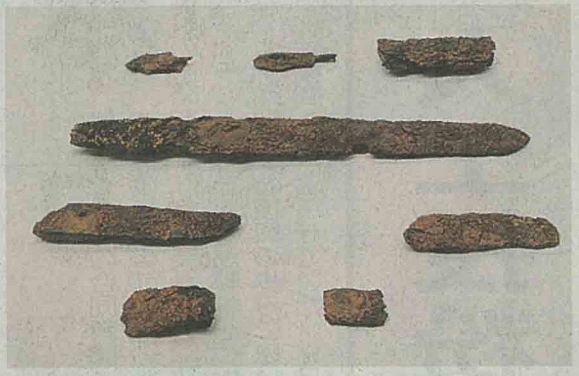
初公開鉄器も

全56点。このうち、剣、やりといった楢原寺山古墳（楢原下）の鉄器類、真加部観音堂古墳（真加部）の鉄鏃はいずれも初公開となる。県内最古級の横穴式石室を持つ穴が迫古墳（今岡）の円頭大刀は銀の装飾が施され、外波迫古墳（海田）の刀の柄頭も装飾が鮮やか。

遺体を埋葬した陶棺は出土例が多い。丹摩古墳（巨勢）の陶棺は渦巻き状の文様、細長く延ばした粘土を交差させて張り付けた装飾が目を引く。楢原寺山古墳から発掘された市重要文化財の銅鏡も披露する。

縄文～弥生時代の出土品を展示した2016年度の企画に次いで開催。古墳時代は国内で小国が乱立して争い合った弥生時代から大和政権が統一を果たしていく時代で、市教委社会教育課は「展示を通して当時の地域や市の成り立ちに思いをはせてもらいたい」としている。

入場無料。開館時間は午前9時半～午後4時半。11、12、18、19日は休館。問い合わせは同課（0868(72)2900）。



初公開される楢原寺山古墳の鉄器類（上）、鮮やかな装飾が目を引く外波迫古墳から出土した柄頭（中）、丹摩古墳の陶棺。文様や粘土の装飾が特徴

美作

伝統の盆踊り競演

中尾、大原地区保存会 納涼祭で交流

美作市美作地域の中尾地区で7月31日夜、納涼祭が開かれた。中尾四つ拍子保存会が、大原地域に伝わるしゃんとこ踊り保存会を招き、伝統の盆踊りの競演を繰り広げた。

まずは、中尾地区の住民や浴衣姿の子どもたちが四つ拍子を踊った。グラウンドの櫓を囲み、児童らによる音頭や太鼓に合わせて手を右、左に上げたり、足をとんとんと地面に付けたりして軽快に踊り続けた。

続いて、しゃんとこ踊り保存会の12人が登場。梶本卯一郎会長（80）らが音頭を響かせ、法被を着た会員たちが踊りを披露した。

双方の保存会員は互いに踊りの輪に加わり、心地よい汗を流していた。

「伝統を引き継いでいく者として、ともに思いが通じ合う」と梶本会長。中尾の保存会もこれまでに大原地域の夏祭りに参加しており、久安三樹子会長（61）は「交流を続け、踊りの継承に向けて互いに頑張っていきたい」と話した。

中尾の保存会は2008年、しゃんとこの保存会は10年に発足した。（平田知也）

さんデジに動画

県内外16チーム硬式野球で熱戦

美作ボーイズ大会

県内外の中学硬式野球チームが争う「第13回美作市長杯美作ボーイズ大会」（美作ボーイズ主催、山陽新聞社後援）が7月27、28日、美作市中山の美作野球場などであり、選手たちが暑さを吹き飛ばすような元気いっぱいのプレーを見せた。

県内をはじめ、広島、愛媛など7県から16チームが出場。開会式では美作ボーイズの吹井晴輝主将（津山市立中道中3年）が選手宣誓した。

4会場に分かれ、トーナメントで戦った。美作ボーイズは初戦は圧勝、2回戦は接戦をものにしたが、準決勝で強豪の高松ボーイズ（香川県）に敗れた。大会は神戸甲南ボーイズ（兵庫県）が優勝した。

結果は次の通り。

1回戦　美作12－1瀬戸内、姫路16－1広島府中、高松5－0岡山、岡山北2－0小野、浜田4－3東岡山、倉吉3（抽選勝ち）3倉敷中央、鳥取6－4金光、神戸甲南11－0川之江▽2回戦　美作2－1姫路、高松10－3岡山北、浜田8－0倉吉、神戸甲南9－0鳥取▽準決勝　高松5－1美作、神戸甲南3－1浜田▽決勝　神戸甲南7－6高松

（小川耕平）

開会式で選手宣誓する美作ボーイズの吹井晴輝主将

鋭い当たりを放つ美作ボーイズの選手

おいしい茶をどうぞ

湯原小3児童 お年寄りもてなす

湯原文化少年団茶道部に所属する湯原小の児童3人が7月29日、真庭市下湯原のデイサービスセンター「輝ら」を訪れ、利用者を茶と菓子でもてなした。

茶道を通じて児童とお年寄りに交流してもらおうと、児童たちが日頃の稽古を習っている湯原文化協会茶道部が初めて企画した。児童たちは、利用者11人にまんじゅうと茶せんを添えた茶を振る舞った。自力で茶をたてられない人の代わりに素早く泡立てると、利用者が「上手だね」「ありがとう」と声を掛けていた。

3年植木実依奈さん（8）は「きれいに泡立てることができてよかった。おばあちゃんたちが笑顔になってくれてうれしかった」と話していた。（中村啄也）

利用者に茶を振る舞う児童たち

真庭の3企業見学バスツアー

市、参加者募る

真庭市は7日まで、「ふるさと企業見学バスツアー」（22日）に参加する学生を募集している。

医療器具の開発や製造を手掛ける旭ポリスライダー（三崎）、環境衛生業や地域産品販売の十字屋グループ（中）、精密金属加工の日本スーパー工業（中原）の市内3社を訪問し、業務への関心を深めてもらう。

JR岡山駅（午前8時20分）、同津山駅（同9時）、真庭市役所（同10時）のいずれかから市の送迎バスに乗って各社を回る。

高校、大学・短大、高専、専門学校生が対象。保護者も参加できる。先着20人。参加費千円（昼食付き）。申し込みは市産業政策課（0867㊷1033）。

県児童生徒書道展 勝田、苫田審査会

バランス、正確さ確認

賞候補など決まる

第65回県児童生徒書道展（山陽新聞社主催、県教委共催）の勝田郡と苫田郡の各審査会が5日開かれ、中央審査に進む賞候補（特選以上）などが決まった。

勝田郡地区の審査会は勝央町植月中の勝央

の進歩」（中学2年）といった学年ごとの課題に3小学校から166点、2中学校から158点の計324点の応募があった。

審査員の教諭ら6人が、字全体のバランスやとめ、はね、はらいの正確さなどを細かくチェック。賞候補43点、佳作46点、入選99点を選んだ。

苫田郡地区の審査会は鏡野町竹田の鏡野中で行われた。同町の7小学校36点、鏡野中学校278点の計314点から賞候補45点、佳作48点、入選97点を決めた。

親子で学ぶ夏休み自然科学教室

大アマゾン展

全長2メートル 鮮やかな緑色

その名の通り、鮮やかな

生息地域・南米アマゾン川流域

たくさんの